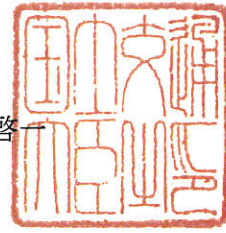


認 定 書

国住指第 2112 号
平成 29 年 9 月 29 日

因幡電機産業株式会社
代表取締役社長 守谷 承弘 様

国土交通大臣 石井 啓一



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060FL-0942
2. 認定をした構造方法等の名称
被覆材付排水管・鋳鉄製管継手／セメントモルタル充てん／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

被覆材付排水管・鋳鉄製管継手／セメントモルタル充てん／床耐火構造／貫通部分(中空床を除く)

2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開口部	形状	円形(φ260mm以下)
	面積	0.0531m ² 以下
占積率 (開口面積に対する配管の断面積の総合計の割合)		52.3%以下
貫通する床の構造等		ALCパネル又は鉄筋コンクリート造 厚さ 150mm以上

3. 主構成材料の仕様：
 主構成材料の仕様を表2に、配管の仕様を表3に示す。

表2 主構成材料の仕様

項目		仕様		
被覆材		材料	①、②又は組合せ ① ②ポリオレフィン系樹脂不織布付軟質塩化ビニル樹脂シート・PETフェルト	
		寸法	材料①：厚さ 材料②：厚さ 14.2mm 以下 被覆長さ：300mm 以上 (立て管、横枝管)	
		使用箇所	(1) 立て管 (2) 横枝管 (あり又はなし) (ただし、耐火二層管の場合は、被覆材はなし)	
	材料①	表面材	材料	
			①	材料
			質量	
			②	材料
			組成 (質量%)	
			厚さ	
		密度		
基材		材料	種類：①、②又は③ ① ② ③	
		厚さ		
		密度		
材料②	表面材	材料	①及び②の組合せ	
		①	材料	
		質量	あり又はなし ポリオレフィン系樹脂不織布	
		②	材料	軟質塩化ビニル樹脂シート
		組成 (質量%)		
		厚さ	2.2mm以下	
	密度			
	基材	材料	PETフェルト	
		組成 (質量%)		
		厚さ	12mm以下	
密度				

つづく

つづき

貫通部措置材		材料	①、②又はなし ①表面材付フェルト (パッキン材：あり又はなし) ②熱膨張材混入樹脂シート		
		寸法	材料①：表面材付フェルト総厚さ 10.13(±4)mm、幅 110mm以上 パッキン材厚さ10mm以下、幅40mm以下 材料②：厚さ 7.0(±1.0)mm、幅 150mm以上		
		使用箇所	床貫通部の管継手1の周囲に巻き付け		
	材料①	表面材	材料	アルミニウムはく張ガラスクロス (ゴム系粘着剤付)	
			寸法	総厚さ0.13mm	
		フェルト	材料	バルブ混入ロックウールフェルト	
			組成 (質量%)		
			厚さ	10(±4)mm	
			密度		
		パッキン材	材料	あり又はなし エチレンプロピレンゴム (EPDM)	
			厚さ	10mm以下	
			接着剤		
			使用量		
		テープ	材料	アルミニウムはく張ガラスクロステープ (ゴム系粘着剤付)	
			寸法	総厚さ0.13mm	
	用途		パッキン材と表面材付フェルトの境目、表面材付フェルト同士の境目、表面材付フェルトと管継手1の境目にテープを貼り付け		
	材料②	シート	材料	熱膨張材混入樹脂シート	
			組成 (質量%)		
			厚さ	7.0(±1.0)mm	
			密度		
使用箇所		管継手周囲に床厚さ以上に巻き付ける			
テープ		材料	塩化ビニル系テープ (酢酸ビニル樹脂系粘着剤付)		
		厚さ	0.2mm以下		
	用途	材料②(シート)の施工用			
充てん材	材料	セメントモルタル			
	組成 (質量%)	普通ポルトランドセメント	25		
	砂		75		
使用箇所 (使用量)	床と排水管 (管継手1) の隙間 (床厚方向150mm以上密に充てん)				

表3 配管の仕様

項目		仕様				
排水管	管継手1 (貫通部材)	材料	本体：ねずみ鋳鉄品 (JIS G 5501) 表面処理：エポキシ樹脂系粉体焼き付け塗装 ゴムパッキン：EPDM 横枝本数：3本以下			
		種類	受け口タイプ (床上) 差し口タイプ (床下)			
		外径	φ188mm以下			
	管継手2	材料	本体：ねずみ鋳鉄品 (JIS G 5501) 表面処理：エポキシ樹脂系粉体焼き付け塗装 ゴムパッキン：EPDM、SBR又は組合せ 押輪：球状黒鉛鋳鉄品 (JIS G 5502) 留付材：ボルト (鋼製 (ステンレス鋼含む))			
		種類	受け口タイプ (掃除口あり又はなし)			
		外径	φ224mm以下			
	立て管	硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741、JIS K 6742、JIS K 6776 (VP管、HIVP管、HT管))	外径	φ140.0mm以下	厚さ	7.5mm以下
	横枝管	硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741、JIS K 6742、JIS K 6776 (VP管、HIVP管、HT管))		φ114.0mm以下		7.1mm以下
		耐火二層管 (国土交通大臣認定：PSO60FL-0383、0401、0454において配管として規定される繊維混入セメントモルタル被覆合成樹脂管)		外管： φ138mm以下 内管： φ114.0mm以下		外管： 5.5mm以上 内管： 7.1mm以下
	横主管	耐火二層管 (国土交通大臣認定：PSO60FL-0383、0401、0454において配管として規定される繊維混入セメントモルタル被覆合成樹脂管)		外管： φ183mm以下 内管： φ165.5mm以下		外管： 5.5mm以上 内管： 9.6mm以下

4. 副構成材料の仕様：

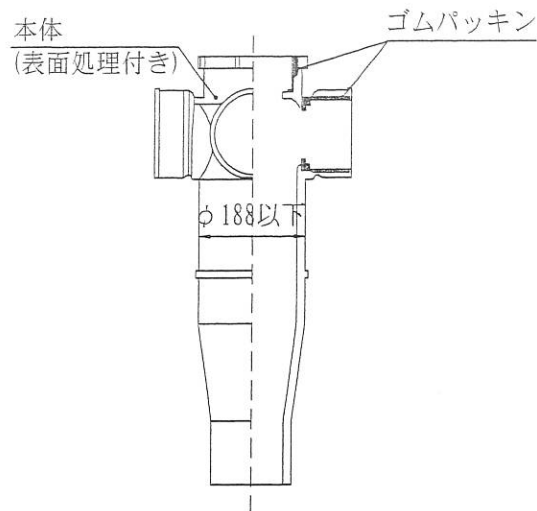
副構成材料の仕様を表4に示す。

表4 副構成材料の仕様

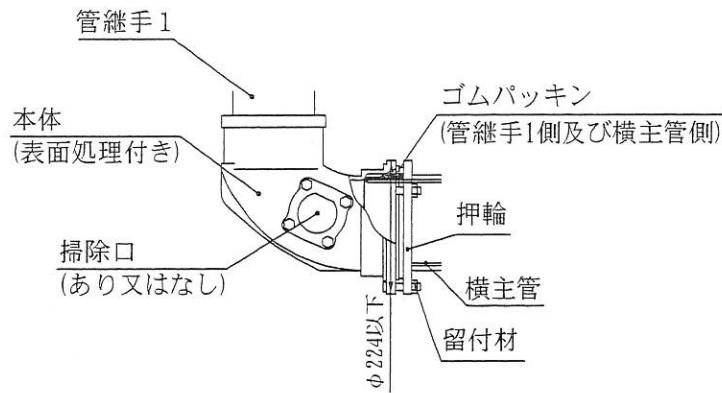
項目		仕様	
ジョイントテープ	材料	合成樹脂製 (合成ゴム系粘着剤付)	
	寸法	厚さ 0.95mm 以下、幅 76mm 以下	
	使用箇所	被覆材と配管の端部、被覆材同士	
被覆材用テープ	材料	①又は② ①布テープ (合成ゴム系粘着剤付) ②合成樹脂テープ (アクリル系粘着剤付)	
	寸法	厚さ 0.3mm 以下、幅 76mm 以下	
	使用箇所	被覆材の円筒状への貼り合わせに使用	

5. 構成説明図：

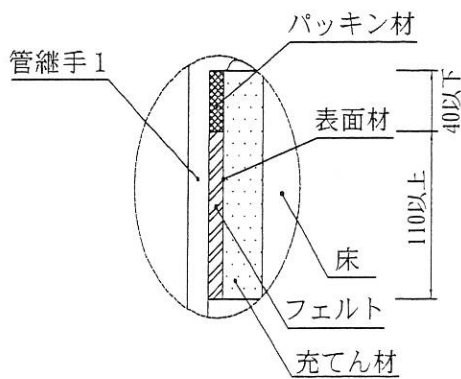
構成説明図を図1及び図2に示す。



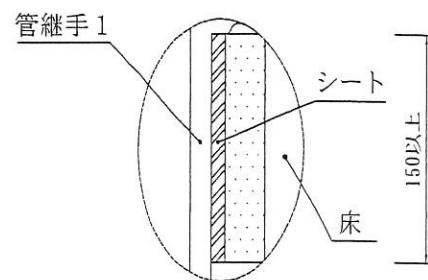
管継手1 詳細図(代表例)



管継手2 詳細図(代表例)



貫通部措置材(材料①)



貫通部措置材(材料②)

A部詳細図(貫通部措置材)

図2 構造説明図(施工図)

6. 施工方法：

施工は、以下の手順で行う。

(1) 貫通開口部の設定

配管サイズ及び占積率を考慮して貫通開口部を設ける。

(2) 管継手 1 に貫通部措置材を設置

<貫通部措置材(材料①)ありの場合>

①パッキン材の取り付け

管継手 1 にパッキン材の界面に接着剤を塗布してから、止水の為パッキン材を装着する。

②表面材付フェルトの取り付け

パッキン材の下部の位置に表面材付フェルトを巻き付ける。

③粘着テープの貼り付け

パッキン材と表面材付フェルトの境目、表面材付フェルト同士の境目、表面材付フェルトと管継手 1 の境目に粘着テープを貼り付け、パッキン材及び表面材付フェルトを固定する。

<貫通部措置材(材料②)ありの場合>

①シート取り付け

管継手 1 にシートを貫通部(床)厚さ以上に隙間の無いように巻きつける。

②テープの貼り付け

その上にテープを巻き付ける。

(3) 管継手 1 の設置

管継手 1 を所定の位置に設置する。

(4) 埋戻し

セメントモルタルにて埋め戻し、隙間がないことを確認して仕上げる。

(5) 配管の設置

立て管、横枝管に被覆材施工し、管継手 1 に挿入し、管継手 1 の下接続に管継手 2、その先の接続部に横主管を接続し、支持・固定する。